



Festival of the mountain
in summer 2025

第11回

夏山フェスタ

第11回 夏山フェスタ

実施結果報告書

2025年 5月17(土)・18(日)

ウインクあいち (愛知県産業労働センター)

主催：夏山フェスタ実行委員会

構成：全国山の日協議会、日本山岳ガイド協会、日本山岳会東海支部、中部経済新聞社

開催概要

- 名 称 第11回 夏山フェスタ
- 会 期 2025年5月17日（土）、5月18日（日）10:00～17:00
- 会 場 ウィンクあいち（愛知県産業労働センター）（名古屋市中村区名駅4-4-38）
- 主 催 夏山フェスタ実行委員会
（全国山の日協議会、日本山岳ガイド協会、
日本山岳会東海支部、中部経済新聞社）
- 協 賛 味の素、中部電力株式会社 再生可能エネルギーカンパニー、東海旅客鉄道、
中日本高速道路、名古屋鉄道、石井スポーツ、好日山荘
- 後 援 日本山岳写真協会東海支部、KONG、シャモニ、モンタニア、
名鉄グランドホテル、名鉄イン
- 入 場 料 無料（一部講演は整理券配布制）

来場者数

2025年5月17日	10：00～17：00	雨のち曇り	3,377名	
2025年5月18日	10：00～17：00	曇り	2,446名	
2日間合計			5,823名	前回5,347名



セミナー(7階)、登山用品セミナー(8階)

セミナースケジュール

講座はすべて無料

17日 土

10:15
↓
11:15

長野、富山、岐阜 三県警の山岳救助隊員に聞く
**憧れの山、
北アルプス登山の注意点**
～夏山登山の準備は
既に始まっている～



北アルプス三県合同山岳遭難防止対策連絡会

11:30
↓
12:30

**山の最高の瞬間を
伝えるために**
～番組制作の舞台裏～



NHK名古屋 ディレクター 佐藤 久美 さん

要
整理券

13:00
↓
14:00

自力登山は面白い
～服部文祥流、
登山の楽しみ方～



登山家 / 作家 服部 文祥 さん

14:15
↓
15:15

■日本山岳ガイド協会公開講座①
「百万人の山と自然 安全のための知識と技術①」
夏山登山をめざして
～山での上手な歩き方と
普段のトレーニング～



鹿屋体育大学 名誉教授 山本 正嘉 さん

15:30
↓
16:30

■日本山岳ガイド協会公開講座②
「百万人の山と自然 安全のための知識と技術②」
あの遭難は防げたのか
～スマホが使えなくなった
場合を考える～
山歩き地図読みドリル(ナツメ社)著者
ココヘリ緊急対応オペレーター/元Team EAST WINDメンバー
宮内佐季子 さん



18日 日

10:15
↓
11:15

**山岳写真も
ウルトラライト**
～軽さは最強の武器～



山岳風景写真家 大島隆義 さん

11:30
↓
12:30

生きて還って、また登る
～ミニヤコンカ奇跡の
生還とその後～



日本山岳会理事 松田 宏也 さん

要
整理券

13:00
↓
14:00

**わたしの
一番の山**
～初登山から
憧れの山まで～



俳優 / 山の日アンバサダー 小林 綾子 さん
「山と溪谷」元編集長 萩原 浩司 さん

14:15
↓
15:15

山小屋座談会
**次代を担う! 山小屋経営者が語る
これからの山小屋の在り方**
～登山者に何を提供し伝えるのか～

八ヶ岳 オールン小屋 小平 岳男 さん 御膳山 二の池ヒュッテ 高岡 ゆり さん
北アルプス・奥ヶ岳山荘 穂刈 大輔 さん 《司会進行》ライター 谷山 宏典 さん

15:30
↓
16:30

～登山愛好家のみなさんへ～
**人間の身体機能を
支配する遺伝子を知ろう**



日本登山医学会認定 国際山岳医 三浦 裕 さん

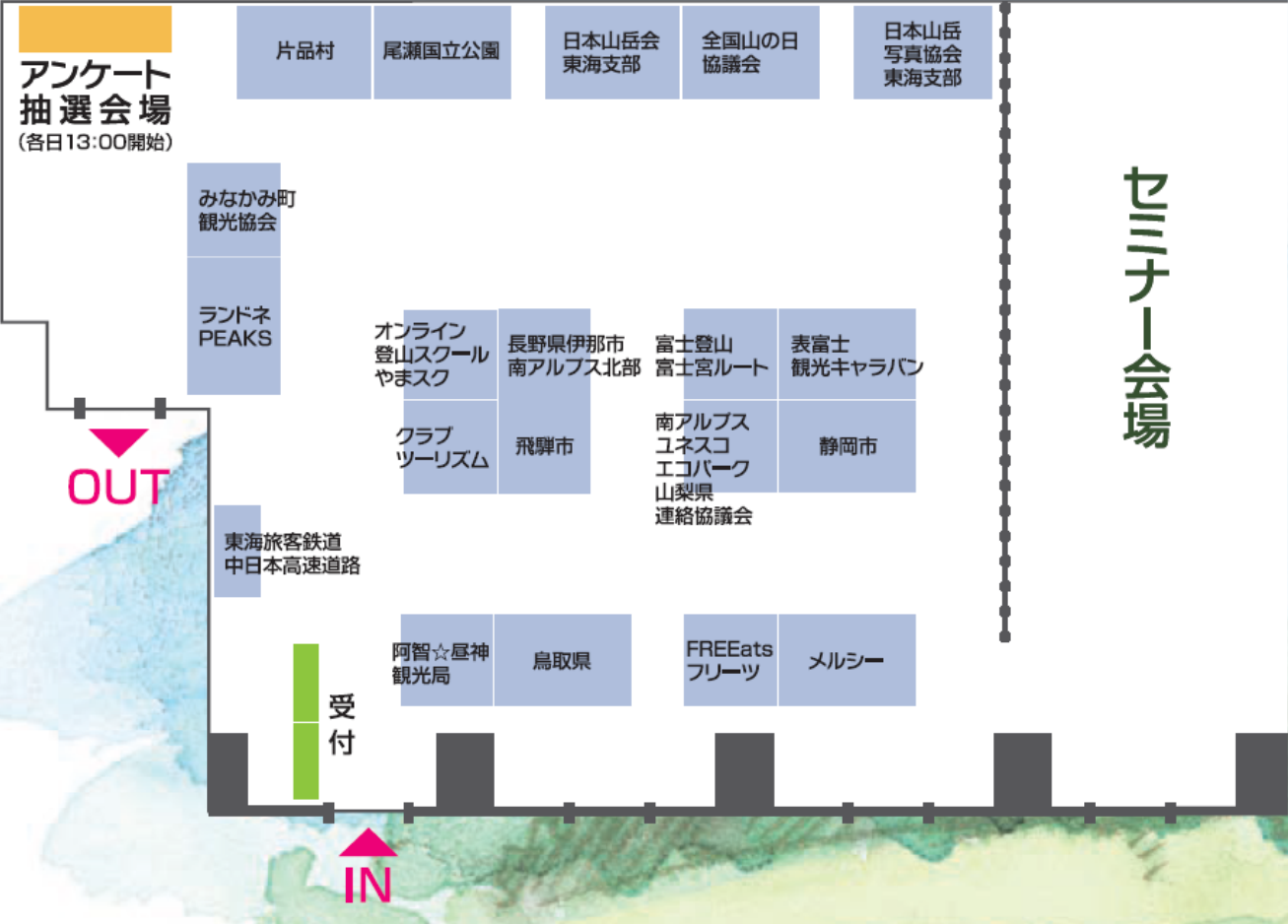
登山用品セミナー(8階)

17日・18日 両日

開催時間	登山セミナー 内容	講師
10:30～11:00	早期発見で命を守る! 登山者必携「ココヘリ」徹底解説&持ってて良かったPokkem	ココヘリ 清水良文さん
11:00～11:30	安全登山のための天気活用法	ヤマデン代表 猪熊隆之さん
11:30～12:00	もう迷わない最新の登山アプリ活用術	ヤマレコ代表 的場一峰さん
12:00～13:00	快適な山登りをサポート!インソール活用術 ～アルペンアウトドアーズフラッグシップストア～	名古屋店 柴 隆典さん
13:00～13:30	リスクから身を守るウェアとギア ～間違いだらけのメンテナンス～	平川陽一郎さん 協力社:石井スポーツ 平林真希さん
13:30～14:00	これ、何の雲? 疑問にお答えする空の見方	ヤマデン代表 猪熊隆之さん
14:00～14:30	今年の夏はテント泊にチャレンジ ～テント設営と撤収方法～	(17日) マウンテンガイド協会会長 平川陽一郎さん/(18日) 日本山岳会 千葉泰文さん
14:30～15:00	最先端の山の通信 使い方ご紹介 ～登山をもっと安心・安全・快適に!～	KDGI 西原隆浩さん
15:00～15:30	みんなが間違える道迷いポイントの特徴5選	ヤマレコ代表 的場一峰さん
15:30～16:00	もしもの時に役に立つ、ツエルトを知ってますか ～非常時に使うツエルトとギアの使いかたを紹介～	(17日) マウンテンガイド協会会長 平川陽一郎さん/(18日) 日本山岳会 千葉泰文さん
16:00～16:30	疲れにくい歩き方とトレッキングボールの効果的な使い方	マウンテンガイド協会会長 平川陽一郎さん

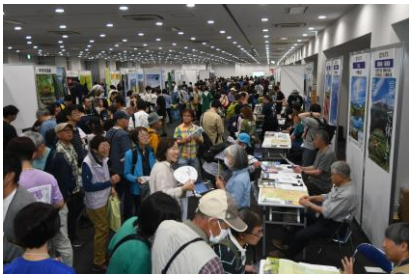
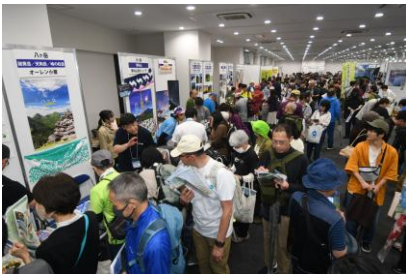
7F セミナー・展示会場

会場案内図



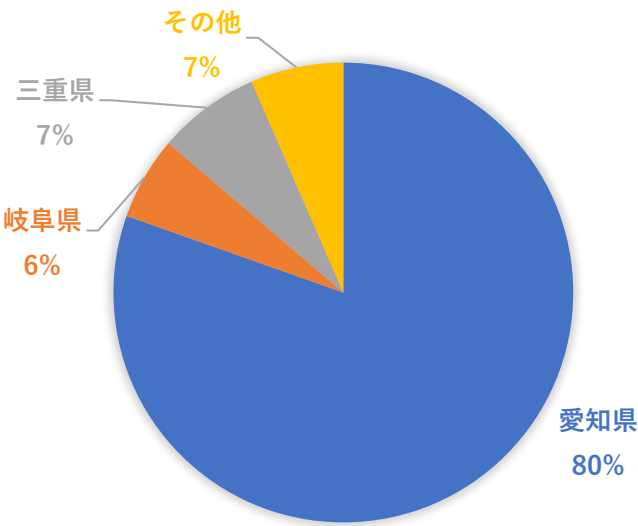
7階展示場出展

阿智☆昼神観光局	南アルプスユネスコエコパーク山梨県連絡協議会	みなかみ町観光協会
鳥取県	静岡市	片品村
FREEatsフリーツ	ランドネ/PEAKS	尾瀬国立公園
メルシー	オンライン登山スクールやまスク	日本山岳会東海支部
東海旅客鉄道/中日本高速道路	長野県伊那市南アルプス北部	全国山の日協議会
クラブツーリズム	富士登山富士宮ルート	日本山岳写真協会東海支部
飛騨市	表富士キャラバン	

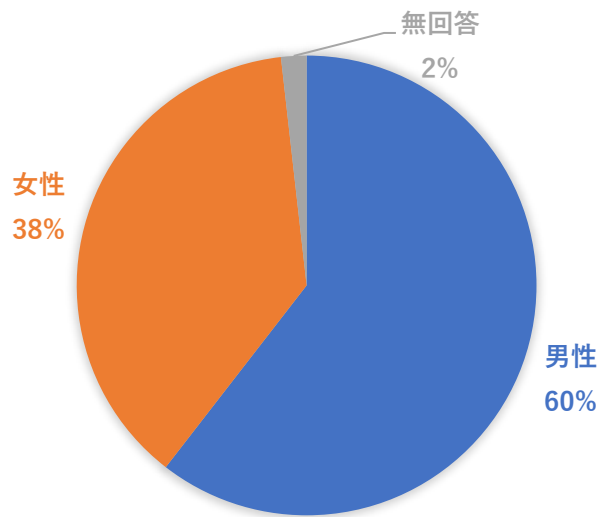


来場者アンケート（回答448名）

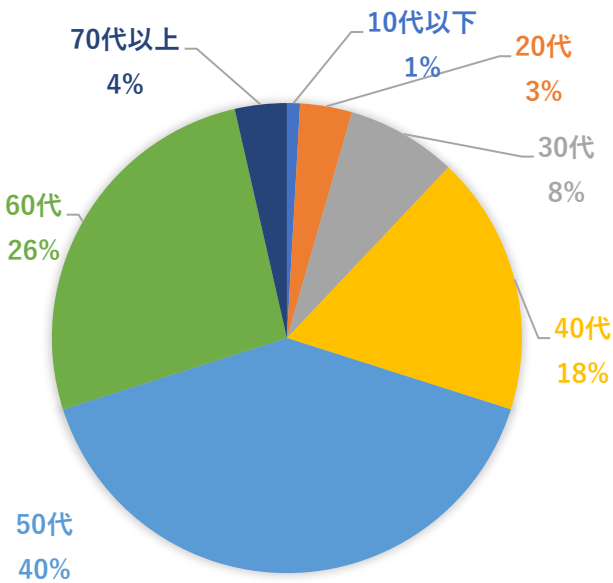
来場都道府県



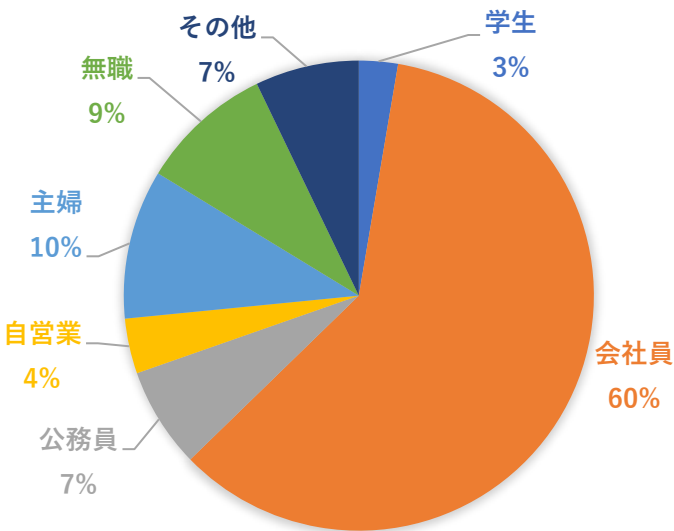
性別



年齢

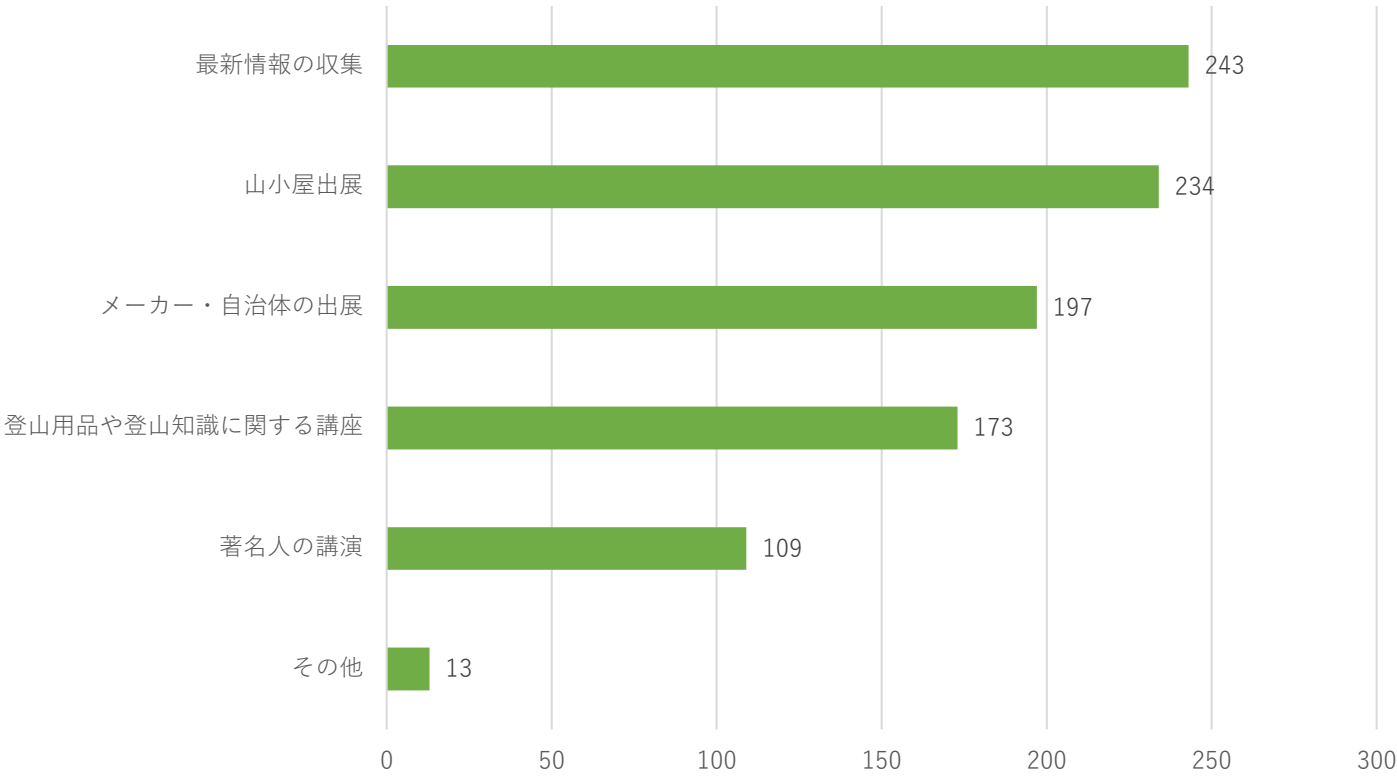


職業



来場者アンケート（回答448名）

■来場目的（複数回答可）



●その他来場都道府県

関東地方（埼玉県・東京都）、中部地方（長野県・山梨県・石川県・静岡県）、近畿地方（大阪府・滋賀県・奈良県・和歌山県）、九州地方（宮崎県）と全国各地から来場があった。来場理由として、山小屋出展、著名人や登山用品・登山知識に関する講演を挙げている。

●年齢層について

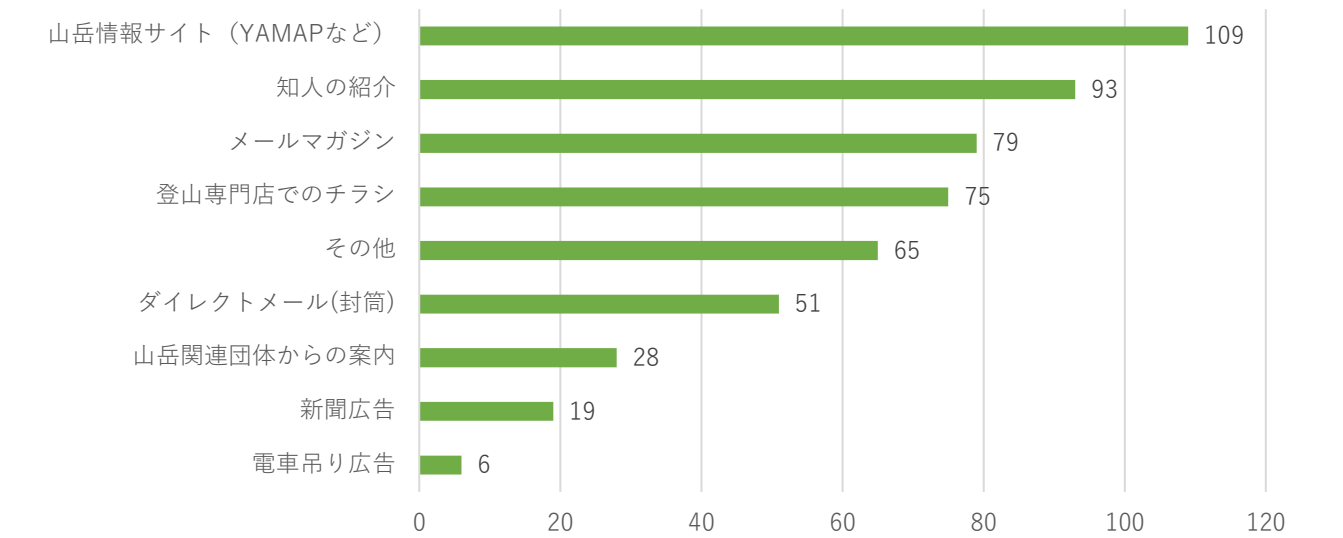
全体として例年と大きく変わらず40代以降がメインの来場者層となっている。次回以降は、若者向けや家族向けの企画を作り上げ、学生や若者の来場を狙っていく。

●来場目的

最新情報の収集、山小屋やメーカー・自治体出展が大きな魅力であることがわかる。また、大きな差はなく登山用品や登山知識に関する講座、著名人の講演についても票が集まっており、全企画満遍なく期待が持たれていることがわかる。

来場者アンケート（回答448名）

■イベントを知ったきっかけ（複数回答可）

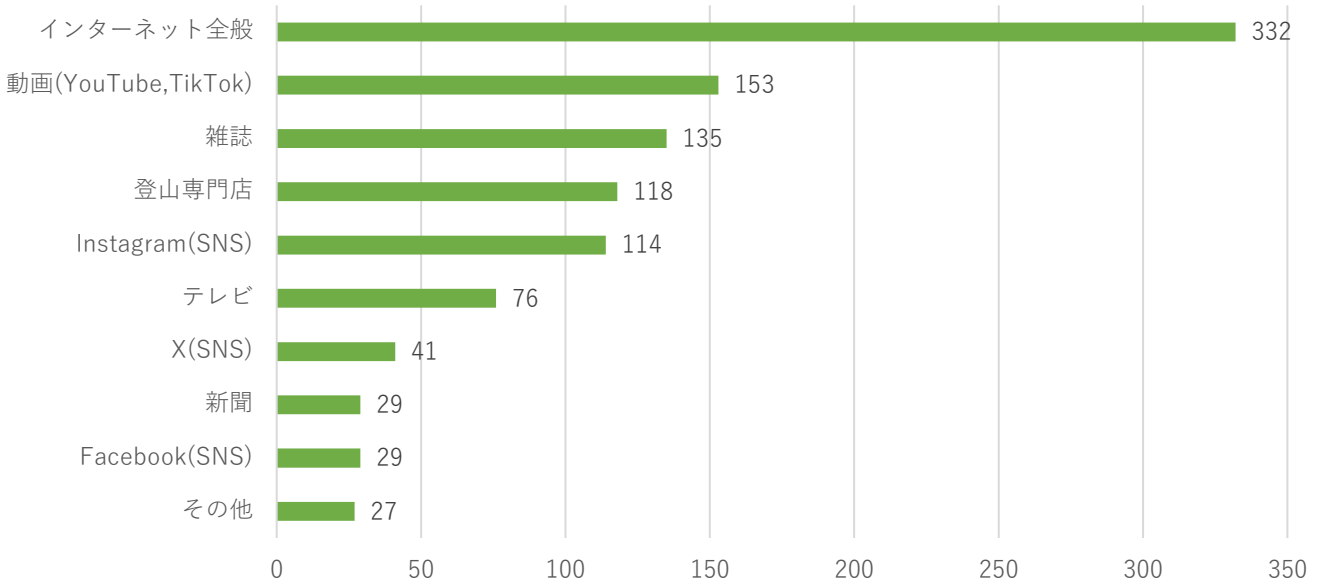


●イベントを知ったきっかけについて

山岳情報サイト（YAMAP）が最も多くの割合を占めていた。次いで知人の紹介も多く、当日は友人同士での来場が多かった印象。また、登山専門店でのチラシやダイレクトメールなどアナログな手法も効果を上げている。

その他の回答では、講演者や出展者の発信したSNSであったり、毎年来場するため事前に開催日を検索しチェックしているというインターネットでのきっかけがほとんどであった。

■登山情報の入手経路（複数回答可）



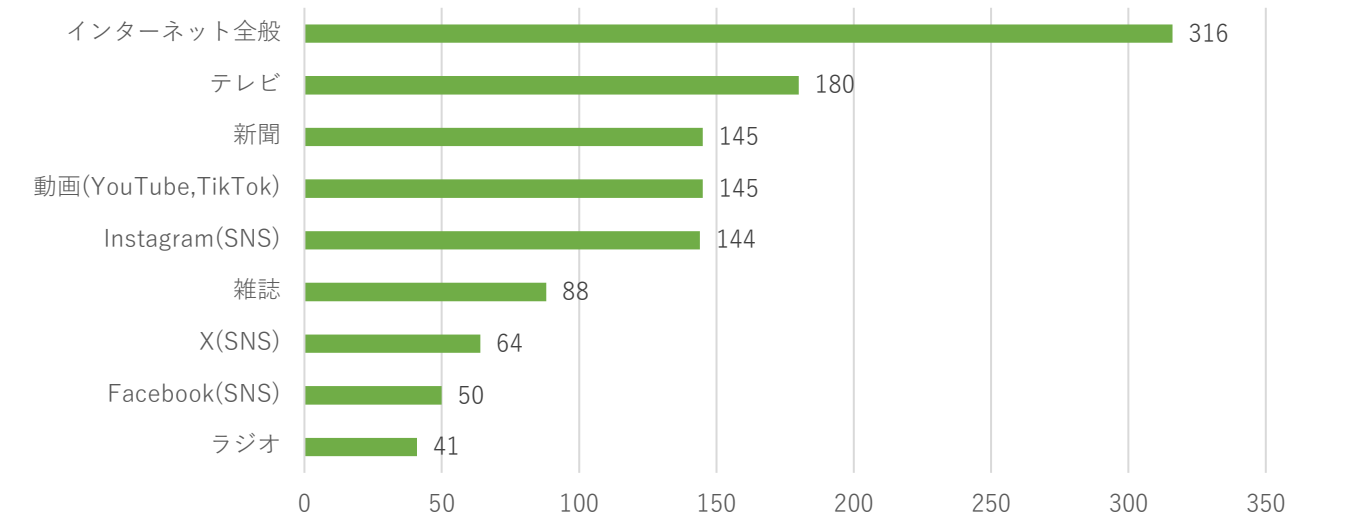
●登山情報の入手経路について

普段の情報入手経路としては、インターネットからの情報が圧倒している。動画投稿サイトやSNSからも情報を取っているのがうかがえる。一方、登山専門店や雑誌等のアナログな手法も目立つ。

その他の回答として、YAMPなどの山アプリからや友人・知人からの口コミという回答が多くあった。

来場者アンケート（回答448名）

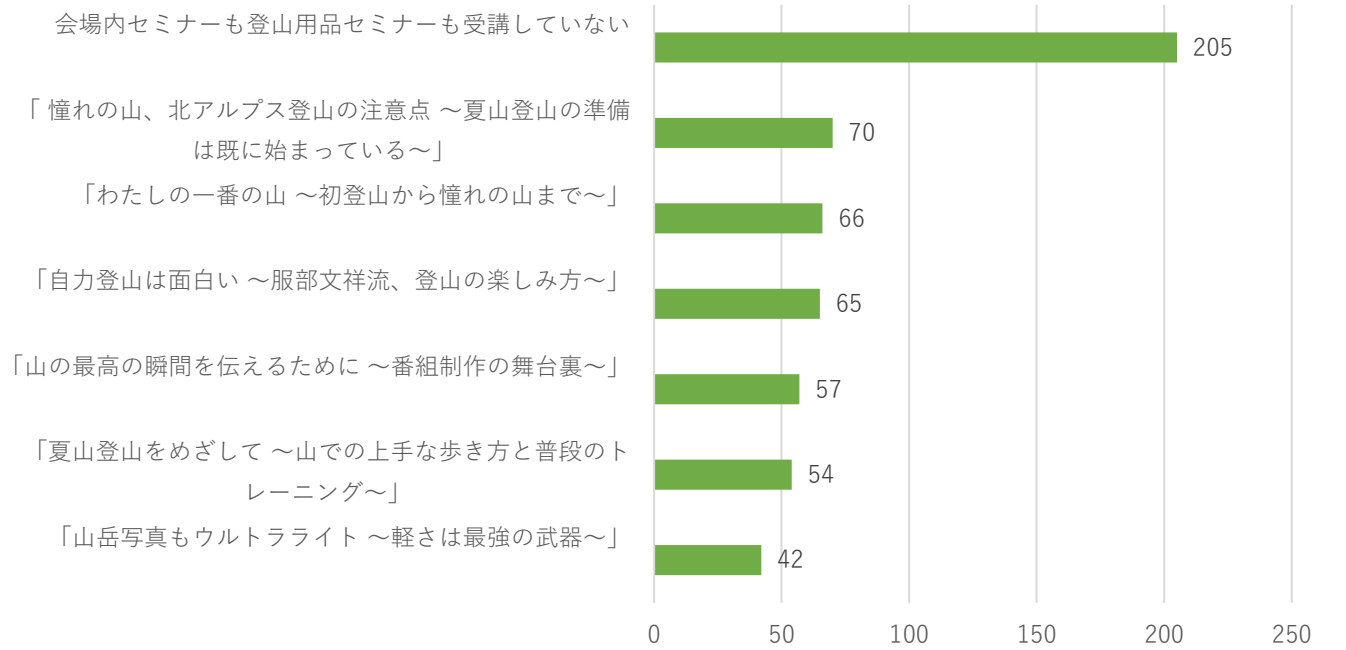
■利用頻度の高いメディア（複数回答可）



●利用頻度の高いメディアについて

インターネットが最も多くの割合を占めていた。続いてテレビや新聞などマスメディアの利用頻度が高い一方で、動画(YouTube,TikTok)やInstagram(SNS)など場所や時間関係なく利用できるメディアも30代以下を中心に高くなっている。

■参加した講座・セミナー（複数回答可）

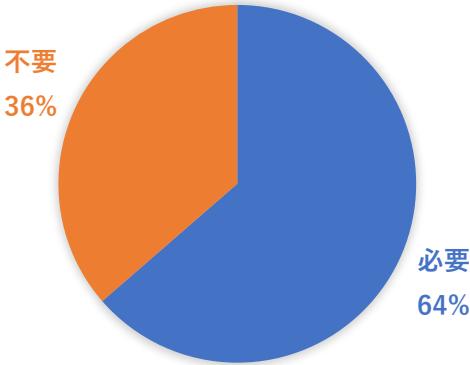


●参加した講座・セミナーについて

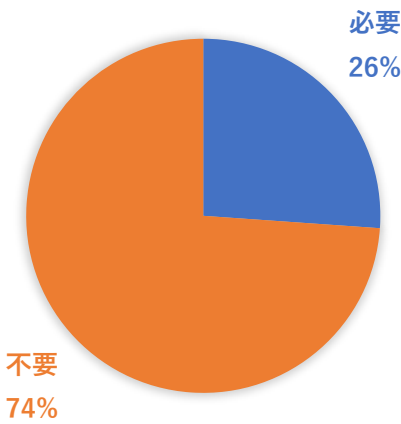
会場セミナーも登山用品セミナーも受講していないが約半数を占めるが、当日のセミナーの様子は、整理券が完売したり、自由席のセミナーもほとんどが満席であった。そのため、この結果はアンケート抽選会が人気セミナーの開催時間と被っていた影響が考えられる。

来場者アンケート（回答448名）

■冬山情報は必要か



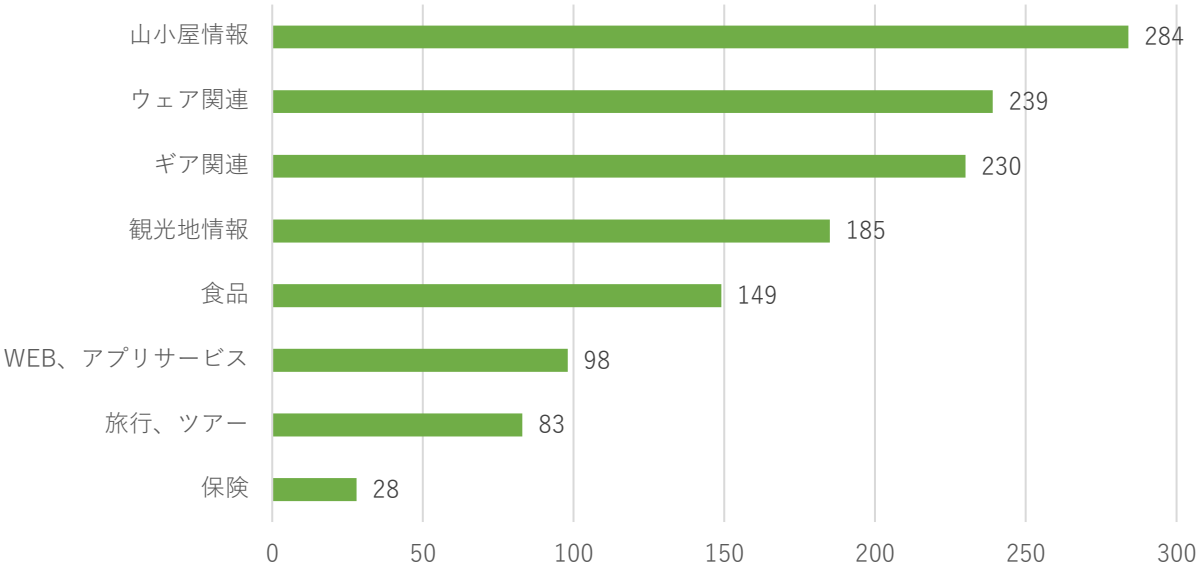
■海外の登山情報は必要か



●次回のイベント開催に向けて、見たい展示内容やセミナーについて

冬山情報については、半数以上が必要であると答え、次回以降は一部冬山情報も取り上げていきたい。
海外の登山情報については、7割以上の方が不要と答え、次回以降も引き続き国内の登山情報を中心とした内容にしていく。

■興味がある展示カテゴリー（複数回答可）

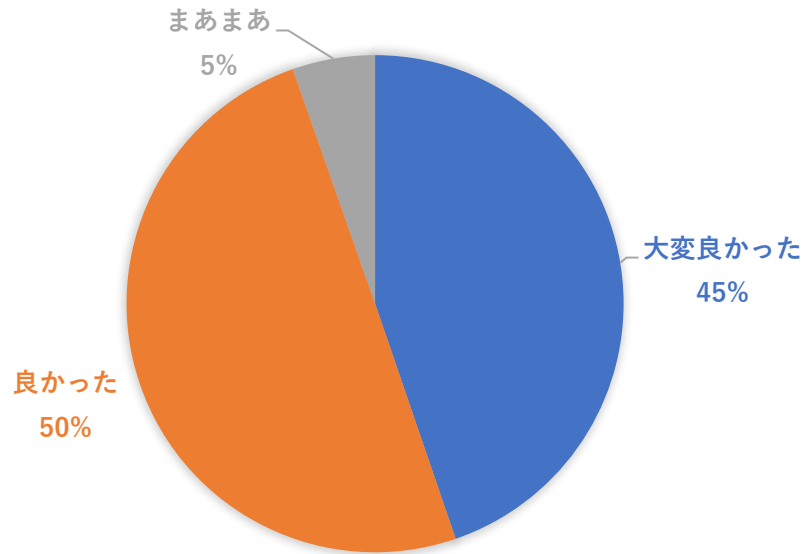


●興味がある展示カテゴリーについて

山小屋の情報は、人気コンテンツとして一番の興味を引いている。
ウェアやギア関連などの登山用品のブースが興味を持たれており、登山用品関連のブースを増やしていくことで、夏山フェスタの魅力を高めることができると思われる。

来場者アンケート (回答448名)

■ イベントの評価



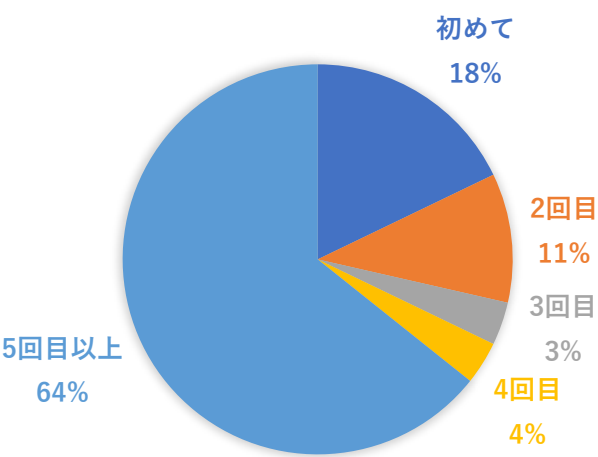
■ 来場者アンケートまとめ

- ・ 一昨年、昨年同様、アンケートのオンライン化、協賛品プレゼント配布を行ったことにより、400名を超えるアンケートの回答を得た。
- ・ 今回は5月中旬の開催であったが、企業・自治体、山小屋ともに出展数は昨年とほぼ横ばいであった。
- ・ 来場者については、5000人を超え、2日間で5823人となり、昨年と比べると微増であった。
- ・ 来場者層については8割が愛知県内、続いて岐阜県、三重県など東海3県からの来場が多くみられる。その他にも、関東地方、近畿地方、九州地方などからの来場もみられ、全国各地で認知が進んでいることが分かる。
- ・ ブース数の少なさを指摘する声や整理券の配布方法についての意見などもあり、来年に向けた改善点も多く挙げられる。
- ・ 来場者の年齢層については50歳以上が7割を占めている。若年層の来場のきっかけでは講演者のSNSから情報を得たという意見が多く挙げられており、講演者をお願いして積極的にSNSやWEB媒体での発信してもらう必要もある。

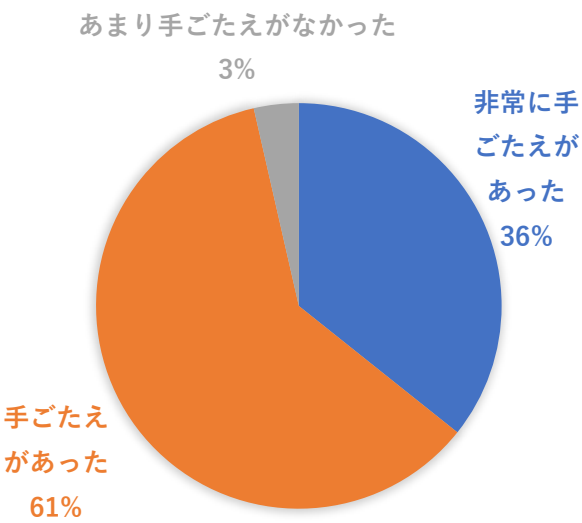


出展者アンケート（回答28社）

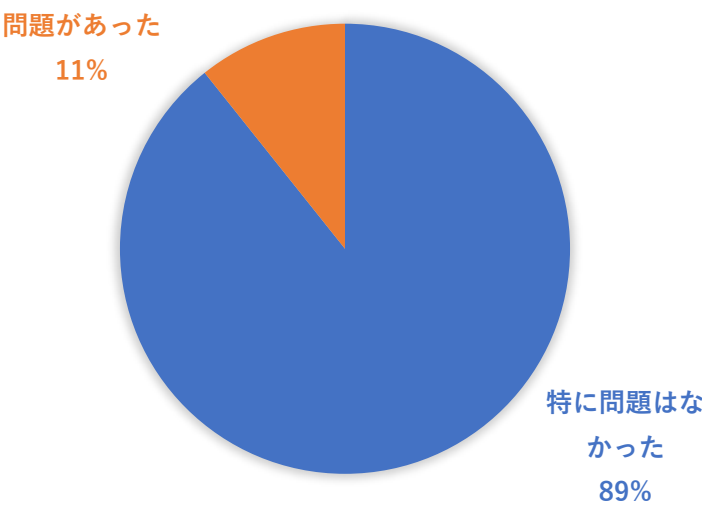
■出展回数



■出展の感想



■運営や会場配置などについて



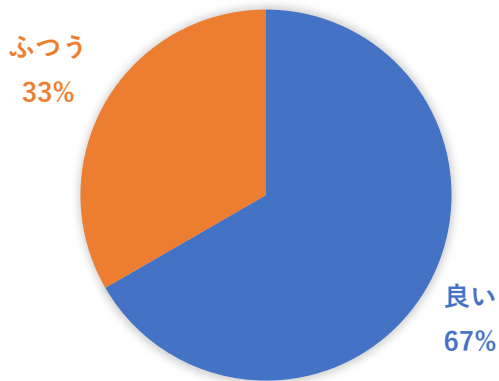
□問題の内容

- 隣のブースがブース範囲を超えて展示をしており、ブース間を人が通る幅がうまく確保できなかった。
- 出展中止によりそのブース周辺が寂しい印象になっていた。事前に分かればブース拡張など対応できたので、もったいないと感じた。

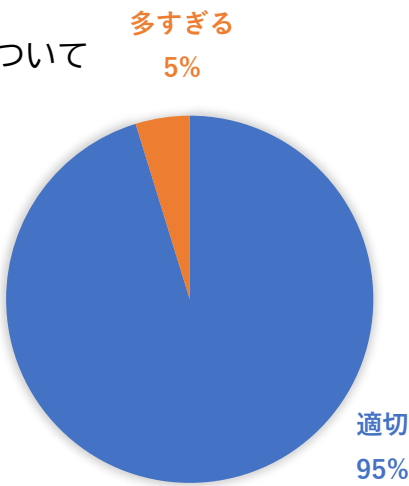
出展者アンケート（回答28社）

■7階セミナーについて

①内容について



②コマ数について

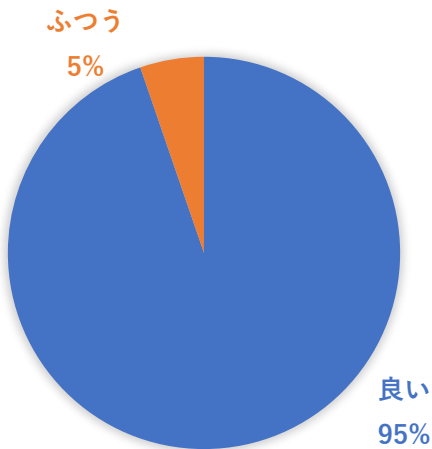


③今後、必要な講座や人選についての意見

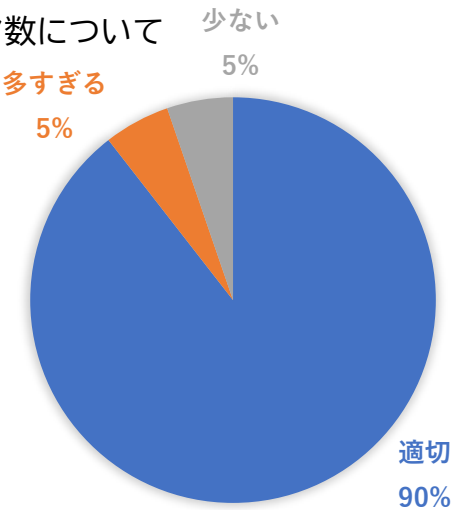
- 「山小屋の仕事や宿泊マナー」
- 各山小屋ブースで少人数の対応より、セミナー講習会場でアピールとして使用することで、よりたくさんの方に効率よく魅力が伝わったと思う。
- 救助隊員からの講座は2日間あっても良い。
- 次回もぜひ大島さんのカメラ撮影セミナーの開催をお願いしたい。
- 例年に比べると超目玉がなかった印象。

■登山用品セミナーについて

①内容について



②コマ数について

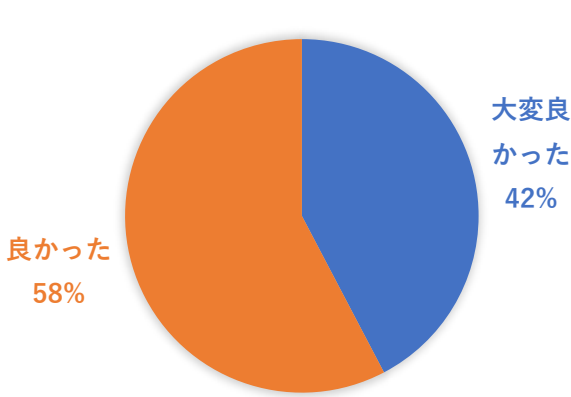


③登山用品セミナーで取り上げたい内容や要望

- 「無理をしないUL軽量パッキングセミナー」
- 「初心者向け」と「経験者向け」で分けるとより良い。
→「初心者向け」セミナー案
初めての山歩き・初めての道具選び・初めての山岳天気・初めてのルート選び・初めての山小屋泊まり など
- セミナー時間が短いと感じる。

出展者アンケート（回答28社）

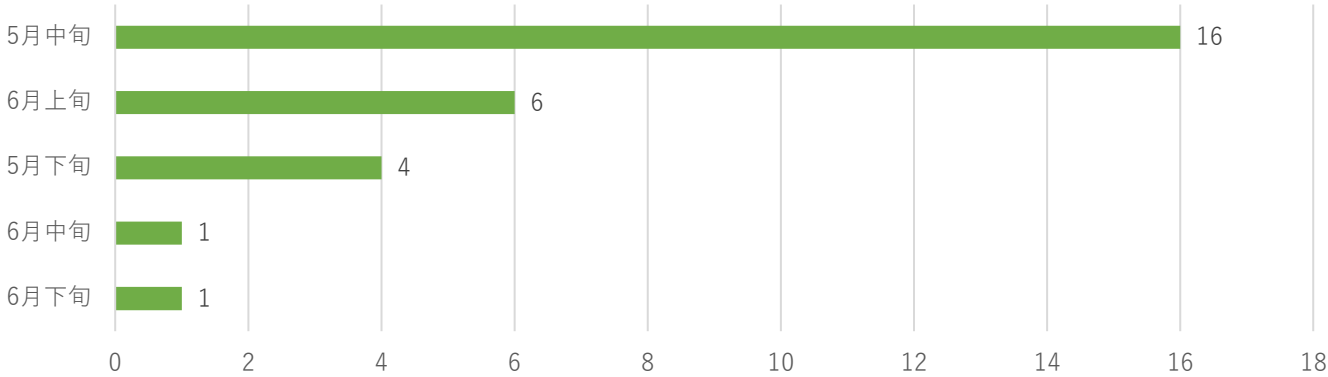
■イベント全体の印象



□感想

- 情報収集にご熱心なお客様がとても多く、各出展者もおひとりおひとりに丁寧に接していて良かった。
- 参加は2回目でしたが、昨年よりも入場者が増えていた印象。
- 人の流れが常にあって良かったが、閉場間際は緩やかであったため、もう1時間早く終わっても良かったと感じた。
- アクセスが良い。

■希望する開催時期

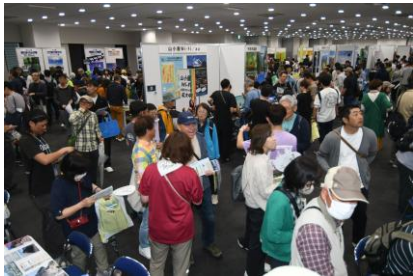
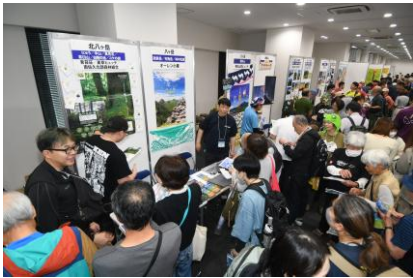


■このほか要望や気になること

- もっとたくさんの方に知っていただく為に一般層の集客をお願いしたい。
- 会場内でバーナーの点火が可能だと、商品説明がしやすくなる。
- パンフレット内の登山装備表について、あいまいな部分があるため更新が必要な箇所があるように感じる。
- 弊社でも告知をしていきたいため、告知用の写真や文章データを早めにいただきたい。
- 最終日、有償でゴミの引き取りをお願いしたい。
- 山域でブースをまとめると人の流れが滞るため、山小屋と他会社を混ぜてほしい。
- 登山セミナーの椅子を増やしてほしい。立っている方が多かった。
- 搬入搬出がしにくい。ルートがわかりにくいので、出展規定にルートを示したうえで、搬入出しやすい環境を整えてほしい。
- 台車の使用条件やゴミの現地処理などももう少し緩和してほしい。
- 山小屋ブースに関して、来場者とゆっくり話が出来るブースがあっても良いかと思う。
- パンフレット配布や声掛けなど出展者が動ける範囲を統一してほしい。
- 初心者や経験者が身の回りにいない方でもマナーや知識が入るセミナーを開催しているイベントはあまりないように感じるため、他の地域、関東や関西地区でもこのようなイベントがあったら良いと思う。

会場写真

■ 展示場写真



■ セミナー会場写真



■ 掲載記事

▼5月19日 中部経済新聞

「第11回夏山フェスタ」に5823人来場



多くの人が来場した。

多彩なセミナーに熱気

情報提供した。北アルプスに現

存する最古の山小屋とされる岩魚

留（いわなづめ）小屋では、日井

幸代、再生プロジェクトリーダー

が、老朽化して休みの小屋を復

活させようと昨年11月にプロジェ

クトを開始した。登山道は再び通

行止めとなっていたが、小屋の良

さを再生の意義を伝えたい」と意

気だ。

名古屋市内から白鳥連統、訪れ

たという60代の男性は「今年行く

予定の山小屋のブルーを訪問し

た。山小屋の歴史や講演なども

参加し、新しい発見があったと

話した。



登山の魅力について語る小林さん（左）と萩原さん

中部地方最大の山岳関連総合イベント「第11回夏山フェスタ」が17、18の両日、名古屋市中村区の愛知産業労働センター（ウイングあいち）で開催された。中部エリアで人気の山小屋を中心に64軒が出展したほか、登山用品メーカーや山小屋オーナーがブースを出展。登山家らによる講演会なども開かれ、2日間で延べ5823人が来場した。

山小屋コーナーは今回、山小屋の出展が大幅に拡充。山に関するセミナーも充実し、18日には俳優で山のガイドブックの著者である小林綾子さんと「山と渓谷」元編集長の萩原浩司さんによるトークショーなどが行われた。小林さんは「感動した山として、北アルプスの女王と言われる薬師岳を上げ、2022年に登った時はニッポウキスゲとコバケイランの当たり年で、花が迎えてくれた感じがした」と振り返った。

夏山フェスタは、全国の山岳関係者や登山愛好家、日本山岳会東海支部、中部経済新聞社で構成する夏山フェスタ実行委員会が開催している。

お礼

「第11回夏山フェスタ」は、17、18の両日、名古屋市中村区名駅の愛知産業労働センター（ウイングあいち）で開催され、盛況のうちに終了しました。このうち、ご来場者さまをはじめ、出展企業・団体、山小屋、協賛社さまのご支援のたまものと心から感謝し、お礼を申し上げます。

全国山の日協議会、日本山岳ガイド協会、日本山岳東海支部、中部経済新聞社

▼5月13日 中部経済新聞

第11回夏山フェスタ

日本山岳ガイド協会と中部経済新聞社などによる実行委員会が、中部地区最大規模の山岳総合イベント「第11回夏山フェスタ」を開催します。登山用品メーカーや自治体など55社がブースを出展します。このほか、約65軒の山小屋による相談コーナーも開設するほか、山に関するセミナーも終日実施します。

17、18日ウイングあいちで

▼会期 5月17日（土）、18日（日）

▼会場 ウイングあいち（愛知県産業労働センター、名古屋市中村区名駅）

▼開場時間 午前10時～午後5時まで

▼入場料 無料（一部講座は整理券が必要）

▼主な内容 安全登山などに関するセミナー▽著名人トークショー▽安全登山に役立つ「登山用品セミナー」▽各出展者による製品・サービスの展示▽山小屋相談コーナー▽山岳写真展 他

▼交通 名古屋駅から徒歩約15分

▼問い合わせ 中部経済新聞社事業部（電話052・56115675）

▼ホームページ 「夏山フェスタ」で検索

中部経済新聞社

5年05月13日 001面 01版 No.08

第12回夏山フェスタ
2026年5月16日(土)～17日(日)
開催決定！

報告書・出展資料のダウンロードはこちら



夏山フェスタ実行委員会事務局

中部経済新聞社 事業部内

〒450-8561 名古屋市中村区名駅4-4-10

名古屋クロスコートタワー17階

TEL:052-561-5675

FAX:052-561-5207